

第1学年 ○組 特別活動 学習構想案

日 時 令和○年 ○月○日 (○) 第○校時

場 所 ○○中学校 1年○組 教室

指導者 八代市立○○中学校 教諭 ○○ ○○

1 題材構想

題材名	「私たちにできる1年○組版SDGsを考えよう」		
題材の目標	○学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。 ○学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。 ○生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。		
題材の評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	議題に対する自分の考えをもち、話し合いを通して合意形成することの大切さを理解し、決定したことを実践することの意義やそのために大切しなければいけないことを理解している。	人間関係をよりよく構築していくために、多様な場面で自分と異なる考えや立場にある多様な意見を尊重し認め合いながら、合意形成を図ってよりよい方法について考え、判断し取り組んでいる。	議題に向けて主体的に話し合い、集団や社会の形成者として他者と協働し、問題を解決することでよりよい生活をつくろうとする態度を育てる。
題材終了時の生徒の姿（題材のゴールの姿・期待される姿）			
学級会等の話し合いで合意形成したことをもとに、自分にできる事を意識して、みんなで協力し積極的に活動に取り組むことができる生徒			
題材を通した学習課題		本題材で働かせる見方・考え方	
1年○組の学級生活をよりよくするために、学級目標に沿って、自分たちができることを考え、目標を立て実行しよう。		よりよい学級・学校生活づくりなど、集団や社会に参画し、様々な問題を主体的に解決しようとする事。	
指導計画と評価計画（事前の指導及び学級会、事後の活動）			
日時	形態	学習活動	評価の観点等
○月○日 朝自習	学級全員	○アンケートの実施 「より良い学級にするために」	【態】（アンケート）
○月○日 放課後	計画委員会	○第1回計画委員会 ・アンケート集約 ・議題の選定 ・小柱の設定	【知】（観察） ○計画委員会の役割や、話し合いの進行の仕方等を理解している。
○月○日 放課後	計画委員会	○第2回計画委員会 ・役割分担 ・意見の集約 ・板書計画	【知】（活動計画・観察）
○月○日 5校時 (本時)	学級全員	○話し合い活動 提案理由や話し合いのめあてを意識しながら、学級会を行う。 ・目標決定 ・具体的取組の検討	【思知】（観察・プリント） ○周りの意見をよく聞き、めあてにそった意見を出して、折り合いをつけて話し合っている。
○月○日 ～	学級全員	○取組の実践 ○月ごとの反省会	【態】（観察） ○実際の活動の様子を記録していく。

2 題材における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所
中学校学習指導要領〔学級活動〕内容（1）ア 「学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。」
題材の価値
本題材の議題は「私たちにできる1年〇組のSDGsを考えよう」である。計画委員会を中心に事前に準備を行い、お互いに意見交換を行い、学級全体で合意形成ができるようにする。また、学級会後に自分で取り組む具体的実践事項について決めさせ、月ごとに反省し取組を改善していくことで達成感と有用感を高めていくことができる。
本題材における系統（本年度の学級で取り組む議題）
○学級目標を考えよう ○生徒総会に向けて学級の質問・意見をまとめる ○体育大会のサブテーマ決め ○文化祭のサブテーマ決め ○学級の問題点と改善点について話し合おう
生徒の実態（題材目標につながる学びの実態）
■学力(資質・能力)に関する実態 本学級は、男子〇名女子〇名（特別支援学級〇名）で、素直で優しい生徒が多く、男女関係なく仲が良い。体育大会などの学校行事では、全員リレーや学年競技など学級で取り組む活動に全員で協力し作戦を考え、朝や放課後の練習を重ねる中で絆を深めていった。また、それぞれの役割について責任感をもって取り組む姿がたくさん見られた。一方で、不登校の生徒が〇名、学校を休みがちな生徒も数名いる。
■本題材の学習に関する意識の状況 学級活動については、生徒総会や各学校行事のテーマ決めなどで級長を中心に班単位での話し合い活動を行った。各班とも男女関係なく意見を交わし建設的な話し合いができていく。しかし、生徒会が主催する決められた話し合い活動にとどまっておらず、自らが学校や学級の課題を見つけ解決しようとする姿ではない。また、学校を休んでいる生徒のことを心配し、少しでも居心地のいい学級をつくるにはどのような取組をすればよいかをみんなで考えたいと多くの生徒が考えている。
■考察 これまでの話し合い活動を通して、周りの意見を聞いてよりよい意見へと考えを変えることができ、学級全体としての意見をまとめていくという意識が高く感じられる。そこで、折り合いをつける際の技能的な面や、少数意見の扱い方等を、計画委員会を中心に丁寧に取り扱わせていく必要がある。

3 指導に当たっての留意点

- 学級会での話し合いの進め方や、意見の出し方に留意し、また、出された意見に対して自分がどのように考えているかをはっきりさせる姿を目指す。そのために、自分の意見をはっきりともたせ、学級会で決まった事に対して、自分ができることを考えさせていく。
- 意見を交わす中で、自分の意見はしっかりもちながら、相手の意見を受け入れ肯定的に捉えられる姿を目指す。そのために、本学級会の目的を意識させ、よりよい意見に沿ったり周りの意見と合わせたりしていきながら、合意形成を図る。

4 本時の学習

(1) 目標

- みんなにとって居心地の良い学級になるためには何をすべきかを意識し、話し合い活動を通して様々な意見から合意形成を図りながら、学級の取り組みについて考えることができる。
- 話し合いを通して、学級のみんなのために自分にできることを考え、それを実践していこうとする態度を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇) 予想される生徒の発言)	指導上の留意点 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
つかむ	10分	1 開会 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の説明 5 決まっていることの確認 6 話し合いの進め方 議題：1年○組版SDGsを考えよう	○何のために学級会を開いて話し合いをするかを明確にするよう提案理由できちんと説明させる。 ○自分の意見を持ち、相手の意見も尊重した合意形成が図れるようなめあてをもたせる。
出し合う 比べ合う	30分	7 話し合い 小柱① 内容を吟味し、目標を決定しよう。 ◇学級の課題にあったものにしよう。 ◇学級目標と重なるものが良い。 ◇わかりやすい目標がいい。 小柱② 目標を達成するために、具体的な活動内容を考えよう。 ◇みんながやりやすいものがいい。 ◇学級レクレーションをしよう。 ◇ぼかぼか言葉一覧を作ろう。 ◇昼休みにみんなで遊ぼう。 ◇班交換ノートを作ろう。	○計画委員を中心に、集約したアンケートから、本来のSDGsを参考に、掲げる目標がある程度まとめておく。 ○小柱①では、アンケートをもとに事前に掲示し、吟味しやすいようにしておく。 ○目標は、短く分かりやすいものにして、全員が前向きに取り組めるものにするよう、計画委員と事前に打ち合わせておく。 ○小柱②では、事前アンケートを使って内容を考えさせておく。 【具体の評価規準】思考・判断・表現 自分と異なる考えや立場にある多様な意見を尊重し認め合いながら、合意形成を図ってよりよい方法について考え、判断し取り組んでいる。
振り返り	10分	8 決まったことの確認 9 担任の話 10 終りの言葉	○今回の話し合いの良かった点や反省点を振り返り評価させる。 ○たくさんの意見から、自分の意見と重ね折り合いを付けながら内容を吟味することの大切さや話し合いに参加することの意義、活動に向けて意欲を高める話をする。

【板書計画】

まとめ・決定事項	※アンケートをもとにした、具体的活動を短冊にして張り出す。	小柱②	※アンケートから取り出した目標を張り出す。	小柱①	めあて	提案理由	議題	学級会	○月○日(○)
		目標を達成させるための具体的な活動内容を考えよう		目標について内容を吟味し決定しよう			1年○組版SDGsを考えよう		

【ICT活用計画】

教師による教材提示の計画

- アンケートの結果を一覧にまとめ、いつでも見られる状態を作る。
- 最終的な1年○組SDGsの目標と活動のイメージ図を表示することで、視覚的に理解し、話し合い活動をスムーズにすすめたり、意見を出しやすくしたりする。